

令和7年（2025年）10月17日

保護者の皆様

札幌市立あいの里東小学校
校長 渡邊 雅子

令和7年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

残夏の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年、4月17日（木）に全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の「児童生徒質問紙調査結果」と「教科に関する調査結果」について、本校の6年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し今後の学習・生活指導に生かしてまいります。御家庭におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にさせていただきたくお願い申し上げます。

【児童質問紙 調査結果について】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査です。

○「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選択したものを「肯定的解答」、「当てはまらない」「どちらかと言えば当てはまらない」を選択したものを「否定的解答」とします。

○パーセンテージの高低によらず、全国平均項目との差が著しいものを挙げています。

全国の結果と比較すると、以下の項目において**肯定的**が多いことが分かりました。

項目	肯定的回答	全国比
・ 理科の勉強は好きである。	96%	+15.9%
・ PC・タブレットなどのICT 機器を使って発表のスライドを作成することができる	92%	+15.3%
・ 国語の勉強は好きである。	70%	+11.7%
・ 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	78%	+9.4%
・ 国語の授業の内容はよくわかる。	92%	+9.2%
・ 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。	88%	+9.8%
・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	92%	+9.7%
・ PC・タブレットなどのICT 機器を、使用して文書を作成できると思う。	90%	+8.2%
・ 学校に行くのは楽しい。	94%	+7.5%



◎ICT への有用感が高く、PC・タブレットなどの ICT 機器を使った学習への自信がついている児童が多いです。

◎また、それに伴い、構成力を含む文章の組み立て、全体の構成についての伸びを実感している子が多いことがわかります。ICT を使った教科の学習活動や総合的な学習の発表材料の作成は、たいへん効果的だといえます。

全国の結果と比較すると、以下の項目において否定的回答が多いことが分かりました。

項目	肯定的回答	全国比
• 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分ですべきことを決めて取り組んでいますか。	68%	－12.8%
• これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。	68%	－12.6%
• 小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか。	68%	－12.6%
• 今回の国語の問題では、回答を文章で書く問題がありました。それらの問題で、諦めず最後まで回答を書こうと努力しましたか。	69.4%	－12.3%
• PC・タブレットなどのICT 機器を使って、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	68%	－9.6%
• PC・タブレットなどのICT 機器を使って、友達と考えを共有したり比べたりしやすいですか。	76%	－8.6%



▽自分の考えを表現する場や、話し合いの場を充実させ、より主体的に学校での活動に関わろうとする環境を確保します。そのための手立てとして、本校では、ふれあい活動、委員会活動、クラブ活動などを工夫しながら行っております。

▽記述式に対しての苦手意識を感じている児童が多いことがわかります。文章力の向上や、知識をもとに説明したり表現したりすることのできる活動を行い、記述への抵抗感を減らす関わりをしていきます。

【教科(国・算・理)の結果について】

	本校の概要	改善の方向
小学校国語	全体的に、全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや上回っている。 ≪話すこと・聞くこと≫ ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋5.2) ≪言葉の特徴や使い方に関する事項≫ ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋3.3) ≪情報の扱い方に関する事項≫ ○全国平均に比べ、やや上回っている。(＋1.5) ≪書くこと≫ △全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや下回っている。(－1.4) ≪我が国の言語文化に関する事項≫ ▽全国平均に比べ、やや下回っている。(－2) ≪読むこと≫ ▼全国平均に比べ、大きく下回っている。(－4.9) ※問題形式が「選択式」「短答式」であるものは全国平均よりも上回っているが、「記述式」であるものは全国平均よりも大きく下回っており、解答せずに空白だった児童が多い。	◎全体的に知識・技能に関しての定着が見られます。 ご家庭のご協力もありがとうございます。
		▽子ども達の思考・判断・表現の力をより伸ばすことのできるよう、 「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する活動」 「必要な情報を見つけ、書かれていることをもとにまとめて書く活動」 「目的に応じて文章と図表を結び付ける活動」を、充実させていきます。 

小学校算数	◎知識・技能、思考・判断・表現どちらの観点も全国平均かそれ以上である。 ➡ 《図形》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋9.9) 《測定》 ○全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋9.8) 《データの活用》 ○全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや上回っている。(＋2.2) 《数と計算》 ○全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや上回っている。(＋1.5) 《変化と関係》 ▽全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや下回っている。(－1.1) 🧚	◎全体的に知識・技能、思考・判断・表現ともに育ちが見られます。ご家庭のご協力も、ありがとうございます。 やや正答率の低かった、 「分数の計算の導入場面で、図や具体物を操作して、計算の意味を説明したり、交流したりする活動を通して、計算の意味の理解を図る活動」 「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を導き出す活動」 「割合の考えをもとに、「〇％増量」などの意味を解釈し、数量の変化を理解する活動」を、充実させていきます。
小学校理科	《エネルギー》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋4.9) 《生命》 ○全国平均に比べ、ほぼ同程度であるか、やや上回っている。(＋4.2) ➡ 《粒子》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋4.2) 《地球》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。(＋3.1) ※問題形式が「選択式」「短答式」であるものは全国平均よりも上回っているが、「記述式」であるものは全国平均よりも大きく下回っており、また、無回答の割合が全国平均よりも高い。	◎全体的に知識・技能、思考・判断・表現ともに育ちが見られます。ご家庭のご協力も、ありがとうございます。 これからも、理解することに留まらず、より深い学びに繋がるよう、 「<u>体験学習を増やしたり、ICTを効果的に活用したりして実感のある学びにする活動</u>」 「<u>得た知識をもとに説明してみたり、文章にまとめてみたりする活動</u>」を充実させていきます。 🧚

今後も、子どものよさを認めるとともに、日常指導や道徳科の学習を通して、一人ひとりの心を育てて参ります。また、基礎・基本を大切にしながら、体験的な学習などを通して、より実感を伴う理解につながる学習を進めて参ります。